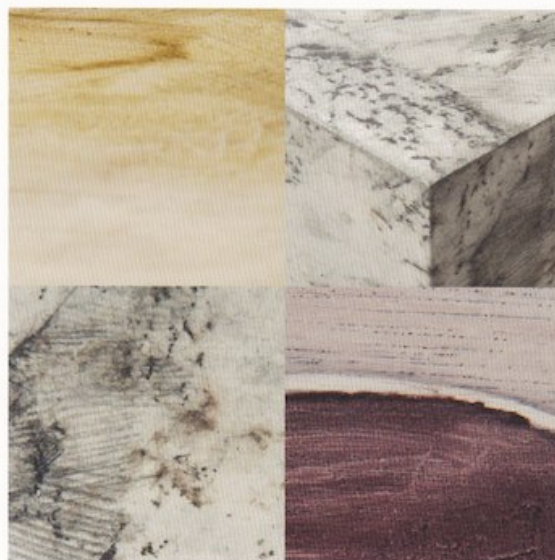
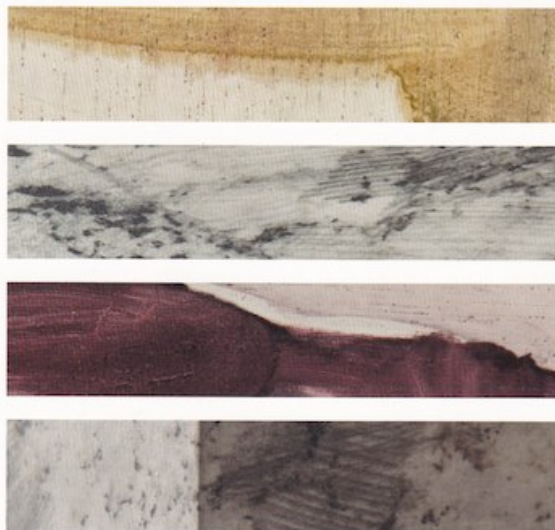


「effect pollen」 MORYTA+

effect pollen  
MORYTA+



Kazutaka SHIOI × Aki MITSUGI



Photoed by Daisuke Ikeda

e f f e t P o l l e n

塩井一孝 三津木晶 展  
Kazutaka SHIOI Aki MITSUGI

2012年6月24日(日)~7月8日(日) 13:00-20:00 月曜休廊

● 6月30日(土)18:00より懇親会を予定しております。

## ギャラリーモリタから始まる、“effet pollen”

Gallery MORYTA は次の時代に向けてさまざまな試みを発信していきたいと考えています。作品に込められている作家の思いと、何かを探し求める人たちが集まり交差することにより、繋がりが生まれ、新たな化学変化が起きます。「発信していくものに命の種が宿っていれば、花粉のように飛び広がり、やがて実を結ぶ」とは、知人であり詩人でもあるピエール・バルー氏のことばです。そこで、こうしたギャラリーモリタが提案する企画や活動、そしてそれらによって広がる輪を「effet pollen (エフェ・ポーレン) (花粉現象)」と名づけました。

Gallery MORYTA では「MORYTA+」(モリタプラス)として新たな才能を発掘し、紹介しています。そこで今回 effet pollen 第一弾として次の時代を担ってくれるであろう塩井一孝と三津木晶による展覧会を開催します。つくるといふこと、何かを生み出すといふことは人をときめかせ、真の豊かさを感じさせてくれるきっかけとなると信じています。二人のひたむきに創作する姿勢は、きっと何かを感じ取らせてくれることと思います。

森田 俊一郎 ( Gallery MORYTA )



塩井 一孝 Kazutaka SHIOI

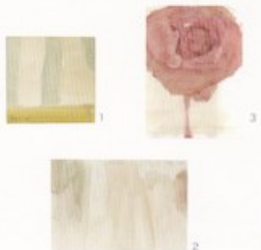
*K. Shioi*

「ランドスケープの皮膚」をテーマとした立体作品を制作しています。そして今回は、故郷を流れる「五ヶ瀬川」を題材に制作したものを発表します。

この一連の作品は、五ヶ瀬川流域の岩や流木などの表面の凹凸(テクスチャー)に着目しその表情を黒鉛を用いて紙の上に写し取る「フロタージュ」という手法を制作の起点としています。

その場で感じた巨岩の存在感や新緑の鮮やかな光の表情など、場所の記憶や時間を表現することが作品制作の醍醐味であると感じています。

1. 「五ヶ瀬川の皮膚」の制作風景 2012 2. 「豆湯市場の皮膚」紙、黒鉛、膠、糊、2011 3. 「森の皮膚」紙、黒鉛、ワックス、木、2011



三津木 晶 Aki MITSUGI

*Aki Mitsugi*

私は見ているものをもっとよく見るために描いています。

また描くことは、光の表情に触れる行為でもあります。

そうすることで、光のつくる色の現象として目の前にある出来事をとらえていきたいのです。

1. 「Flat 6」紙、油彩、2012 2. 「Flat 1」紙、油彩、2012 3. 「flower」紙、油彩、2011

MORYTA+  
Gallery MORYTA

〒810-0042 福岡市中央区赤坂3-9-28 ロフティ赤坂2F  
TEL:092-716-1032 FAX:092-732-7327  
E-mail:info@g-morita.com http://g-morita.com

